

## 複合劣化

上述した劣化現象は、いつも単独で発生するわけではありません。むしろ、いくつかの劣化要素が同時に発生してコンクリート構造物を痛めていることの方が多いです。

組み合わせによっては、お互いの劣化をより速く、激しく進行させてしまうような組み合わせもあるので、複数の劣化要素が作用していないかどうかしっかりと判断する必要があります。

## 特長

---

### 1. 塩害と中性化

塩化物イオンの濃縮による塩害の促進をします。

---

### 2. アルカリ骨材反応と塩害

電気化学的脱塩工法によりアルカリ骨材反応を促進します。

---

### 3. 中性化とアルカリ骨材反応

中性化により反応性骨材の反応を抑制します。

注意すべき組み合わせがある場合、補修工法の判断を変える必要が生じる可能性があるため、コンクリート構造物にどのような劣化現象が起きているかしっかりと診断していく必要があります。